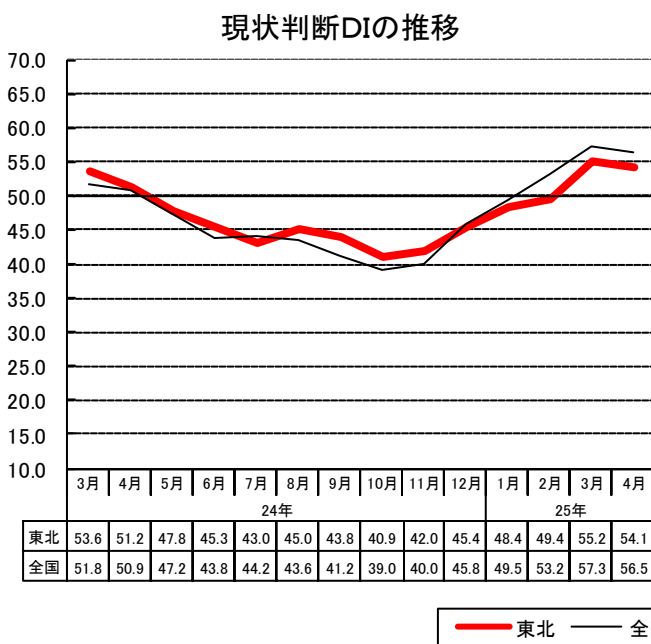


公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 25 年 4 月東北分
 (新潟を含む東北 7 県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：高橋宏明・東北電力(株)取締役会長）は、このほど、「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 25 年 4 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI「54.1」（▲1.1）は、6か月ぶりに前月を下回ったものの、景気判断の基準となる 50 を 2 か月連続で上回った。



- ・家計動向…低温により、消費マインドが低下し、春物・初夏物の動きが鈍化した。DIは「52.6」（▲1.0）と3か月ぶりに前月を下回ったものの、基準値 50 を 2 か月連続で上回った。

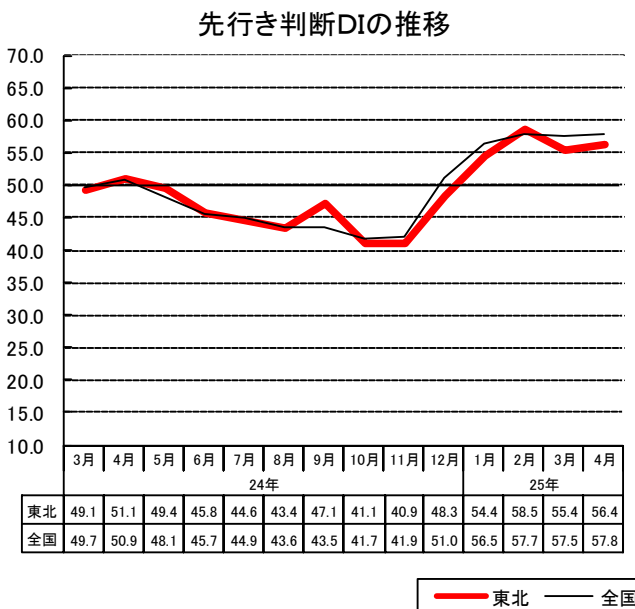
- ・企業動向…多くの業種の受注・販売環境は好調に推移しているが、一般機械器具製造業や木材木製品製造業等で悪化した。DIは「56.0」（▲1.3）と6か月ぶりに前月を下回ったものの、基準値 50 を 4 か月連続で上回った。

- ・雇用動向…DIは「60.2」（▲1.2）と2か月ぶりに前月を下回ったものの、基準値 50 を 4 か月連続で上回った。

- ・プラスのキーワード：(なし)
- ・マイナスのキーワード：低温

2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断 DI「56.4」（+1.0）は、2か月ぶりに前月を上回り、景気判断の基準となる 50 を 4 か月連続で上回った。



- ・家計動向…多業種にわたり、景気上向きへの期待感がみられる。DIは「54.7」（+1.1）と2か月ぶりに前月を上回り、基準値 50 を 4 か月連続で上回った。

- ・企業動向…引き続き、多くの業種で業績改善が見込まれるものの、一部業種で受注量の減少等が懸念されている。DIは「60.7」（▲0.3）と2か月連続で前月を下回ったものの、5 か月連続で基準値 50 以上となった。

- ・雇用動向…DIは「59.1」（+2.3）と2か月連続で前月を上回り、基準値 50 を 5 か月連続で上回った。

- ・プラスのキーワード：アベノミクス効果
- ・マイナスのキーワード：(なし)

<参 考>

■D Iの推移※

(1) 現状判断(方向性) D I

	24年											25年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
東北現状	53.6	51.2	47.8	45.3	43.0	45.0	43.8	40.9	42.0	45.4	48.4	49.4	55.2	54.1	
家計動向関連	52.3	50.2	47.0	42.7	41.0	43.4	42.1	41.0	41.1	45.7	45.3	46.4	53.6	52.6	
企業動向関連	51.3	47.5	46.9	48.8	46.3	46.3	45.1	37.2	42.5	43.1	53.6	55.5	57.3	56.0	
雇用関連(参考)	66.7	64.8	54.5	55.7	50.0	53.4	52.3	47.7	46.6	47.7	59.1	58.0	61.4	60.2	

(2) 先行き判断D I

	24年											25年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
東北先行き	49.1	51.1	49.4	45.8	44.6	43.4	47.1	41.1	40.9	48.3	54.4	58.5	55.4	56.4	
家計動向関連	46.9	49.5	49.3	43.8	43.3	40.2	46.2	40.2	39.2	47.4	52.9	58.4	53.6	54.7	
企業動向関連	51.3	55.6	48.8	49.4	48.8	50.6	49.4	42.1	45.0	50.0	59.5	61.6	61.0	60.7	
雇用関連(参考)	59.5	53.4	51.1	52.3	45.5	51.1	48.9	44.3	44.3	51.1	54.5	53.4	56.8	59.1	

※D I (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 25 年 4 月 25 日～30 日

回答者数 208/210 名、回答率 99.0%(全国 1,856/2,050 名、90.5%)

以上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 佐藤(健))

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL : 022-222-3394 FAX : 022-222-3395

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（医薬品販売店）…1人当たり2.4個程度であった販売量が2.8個と微量ながら増えている。必要なもの
その他ちょっと欲しいものを買っている様子が見られるため、景気は良い方向に流れているようである。

（ガソリンスタンド）…軽油を中心に、土木建築及び当県特有の除染活動のため消費が伸びてきている。他
の地区からの作業員の入込も多く、例年官公庁の年度替りに伴う予算の端境期に落ち込むはずの消費が堅
調を保っている。

（一般レストラン）…今までは花見のシーズンでも客が来ることはなかったが、今年は花見をして、その後
に飲んだり食べたりしたいという客が増えている。過去10年においてこういう現象は初めてである。

（観光型旅館）…平常と比べれば高額となるゴールデンウィーク期間の5月3日と4日は販売単価を下げる
ことなく満室となっている。ただ、宿泊希望日が集中しており、その他のゴールデンウィーク期間やゴー
ルデンウィーク明けの予約については低単価志向が続いている。まずは5月3日、4日の高額商品でも客
が買いたければ売れるということがわかっただけでもよしとしたい。

（観光名所）…来客数は減っているが、客の購買意欲はあるようで、単価自体は上がっている。あとは営業
次第で来客数が増えれば、売上も伸びてくるかというところである。個人個人の購買意欲は上がっている
ようである。

（建設業）…官庁工事の出件数が増え、土木工事の受注量が増加している。

（広告代理店）…ネット選挙解禁により、その関連の仕事の相談が増え始めている。スマートフォンを含め
たWebの制作物の仕事は堅調である。

（人材派遣会社）…当県に拠点を持たない企業からの問い合わせが強くなってきている。新たにコールセン
ターなどを開設する動きもあり、求職者の減少と逆行するような求人側の強い引き合いがある。

（新聞社[求人広告]）…募集広告の申込件数が増えてきている。今まで建設業や介護関連に集中していた業
種も、多業種へ広がりを見せている。

○「変わらない」

（商店街）…客の様子は前年末から楽観ムードが続いており悪くはないが、数字はひところよりは多少落ち
着いてきている。客の気持ちも様子見にシフトしつつあるのではないかとというのが今月の印象である。

（カメラ販売店）…高額商品及び低価格商品の販売量は横ばいで推移しているものの、来客数は減少傾向で
ある。

（スーパー）…今月の1品単価は前年割れしている。前半は曜日の関係や週末の天候不順もあり来客数が減
少した。野菜の相場安もあったが、一部加工食品や公共料金の値上げもあり、消費心理に影響したのか売
上の的には良くない状況となっている。輸入品や油類、小麦なども円安の影響で仕入れ値を圧迫したが、そ
れ以上に低迷する売上対策を続けて強めに打ち出し、何とか前年をクリアしている。ただ収益的には厳し
い状況である。

（コンビニ）…来客数が前年比で2～3%落ちており、その状況は3か月前と変わっていない。

（衣料品専門店）…寒暖の差が激しい3月のような天候が4月まで続き、消費者の購買意欲も上がった
り下がったりしている。また、来客数や買上商品内容も不安定な状態が続いている。

（家電量販店）…少し良い商品や、やや高い商品の販売も見受けられ、単価が持ち直している。白物家電と
いわれている冷蔵庫や洗濯機、エアコンは好調である。しかし、テレビの不調が響いており、厳しい状態
である。

（酒類専門店）…4月は少し動きが出て良くなるのではと期待をしたが、予想以上に静かである。4月に入
っても天候が不安定だったこともあり、人の動きが良くない。それに比例するように販売量も伸び悩んで

いる。その月その月で良い要因があれば、悪い要因も出てくる。その繰り返しで結局横ばいの状態が続いている。景気が良いという実感は全くない。

(都市型ホテル) …被災地特需で宿泊・宴会共に過去まれに見る販売数が2年ほど続いていたが、今月は来客数、売上共に前年を下回っている。来月以降3か月先までの予約状況も前年を下回っている。

(通信業) …株価の上昇、円安の進行等で景況感は上向きかもしれないが、中小企業においてはまだメリットが見られない。

(金融業) …介護施設の新増設の動きが目立つ。また、メガソーラー関連の需要もある。

(コピーサービス業) …大口の受注は皆無に等しく、毎日の少額の積み上げ受注で売上を形成しているような状態である。

(工場施設管理) …出入業者の数は変化が無い。また、取引先の小売業者の話を聞いても、受注数に変化は無いとのことである。

(職業安定所) …新規求人数は前年同月より減少しているものの、依然として高水準で推移している。また、新規求職者の減少傾向も続いており、ここ数か月と状況は変わらない。

○「やや悪くなっている」

(百貨店) …ここ数か月前年を上回るなど景気が上向きとなっていたが、季節外れの降雪により今月は一気に景気が下向きになっている。一部で上質な商品を求める傾向はあるものの、絶対数の多い中間層の来客数減が全体を補えなくなっている。

(衣料品専門店) …今までは震災特需でスーツや礼服が非常に売れていたが、さすがに一巡、二巡してくると、買換え需要は行き届いたということか、スーツやフォーマルの買換えや購入は少し落ちている。また、今月は気温がなかなか上がらず、春物に移行するタイミングがずれ苦戦している。

(乗用車販売店) …販売数は前年比80%前後を推移している。良い期末を迎えられた一部の業種で代替や増車があるものの、低下している新車需要を若干底上げしただけにとどまる。アベノミクス効果もまだ現実味が無い。

(住関連専門店) …来客数の前年比での減少が続いている。新聞などで報道されているような高額品を含んだ売上増加などは地方ではみられない。

(遊園地) …日曜日が前年より1回少ないうえに、3回のうち2回が雪や雨となり、来客数前年を約20%下回っている。月末のゴールデンウィークに期待しているが、前年も良かったので、ばん回には至らない。

(農林水産業) …当地の周辺では、今年度に入って農業をやめる農家が多く出始めており、農業で生計を立てていくことの難しさが改めて浮き彫りになっている。加えて、TPPが予断を許さない状況になっていることも、その傾向に拍車をかけているようである。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

(出版・印刷・同関連産業) …原発賠償金が各企業に入っているため、それにより景気も上向くと予想される。また、国の企業立地資金を始めとする復興関係の補助金が行き渡ってきて、景気の下支えになる。株式市場も回復しているので、そういう部分もプラスに作用していく。

○「やや良くなる」

(家電量販店) …原発事故の賠償金や復興需要の影響で、単価の高い、少し良いものが売れている。テレビの不調は現在も続いているが、2、3か月後にはこの不調も脱するとみている。県全体としても3か月後から明るくなってくだろうと期待している。良いものを買うという単価の上昇志向も見られることから、景気も良くなっていくことが期待できる。

(ガソリンスタンド) …今後、新年度予算の執行や除染活動の拡大により、軽油の需要を中心に増加してくるものと予想される。また、復興需要が原発賠償金の支払の執行とともに地場の建設を下支えしていくの

で、当面、石油需要は堅調に推移する。

(観光型ホテル) …仙台空港の発着等、新たなフライトも増えている。それにより、ビジネス客が多いが県内への入込も増え、予定外の入込もそれなりにある。こういったことが観光にも好影響を与えることを期待し、来客増に向けた取組をしたい。多少明るさが見えてきている。

(住宅販売会社) …消費税増税前の駆け込み需要により、住宅はもとよりRC賃貸マンションの受注が複数確定している。

(電気機械器具製造業) …円安による会社業績の改善継続、アベノミクスによる公共事業拡大での周辺企業の業績アップ、また夏の賞与の期間に入るため、今年に入ってから会社業績改善が実利として見えてくるフェーズに入る。

(建設業) …技術者不足等一部に懸念があるものの、官庁工事の出件増で受注量の増加が見込める。

(飲食料品卸売業) …デスティネーションキャンペーンが6月まで続くことから、地元、観光需要の高まりによるホテル、旅館を含めた飲食需要に期待が持てる。

(新聞社〔求人広告〕) …企業の採用意欲は積極的になっている。今後は雇用形態で正社員採用が増えてくれることを期待したい。

○「変わらない」

(百貨店) …来年の消費税増税を控え、高額品を中心に少しずつ特需の傾向が出てくるとみられる。一方で、お中元については、震災特需も一段落しており大きな伸びが望めないことから、落ち着いた数字で推移するものとみられる。

(スーパー) …4月からの輸入原材料の価格上昇による商品の値上げが始まっており、客の購買動向はより価格に向いている。競合状況が激しいなかでの集客には、チラシ価格を強く打ち出さなければならず、1点単価及び客単価の下落傾向が続く今の状況は変わらない。

(衣料品専門店) …年々、クールビズによるスーツ離れが進んでおり、客単価が低下している。

(住関連専門店) …デフレ解消の経済効果も出ているが、当店に来る客はデフレ解消というよりも、値段の安い商品を求めて来る客が多いため、なかなかデフレの解消というわけにはいかない。それで、景気が追い付いていかない面がある。

(パソコン専門店) …現在、問い合わせや見積の件数が出てきているが、すべてが契約や受注に至るわけではなく、ある程度の件数に落ち着くのではないかと予想している。客はまだお金を使うことを渋っている様子が見られるため、今後も市場全体の活性化は期待できそうにない。消費者全体でもお金の循環はできていないようである。

(遊園地) …景気回復はメディアで報道されるほどには地方に波及していない。ただ、他の地域よりは復興需要により下支えされており、下降には至らない。

(輸送業) …若干の変化は見られるが、大きな好転は期待できない状況である。

(職業安定所) …新規求人の前年割れや季節的要因もあり、有効求人倍率の多少の変動はあるが、依然として求人は高水準で推移するものとみられ、状況が大きく変わることは考えにくい。

○「やや悪くなる」

(スーパー) …既存店の来客数と買上点数が前年比94%台となり、落ち込みが大きい。なかでも、花とベーカーリーの売上高の落ち込みが大きい。それだけ儉約志向が進んでいるとみられる。

(都市型ホテル) …向こう3か月の予約状況から、今後はやや厳しい局面を迎える予想される。

(工場施設管理) …管理している工場の先行きが上向きではない。当地でも規模の大きな工場であるため、それに伴い取引先である多くの小売業や運送業の仕事量の減少に繋がる懸念される。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上